

第3回 高1英語

総評

今回の試験では、総合的な英語力を測るため、リスニング、文法・語法、英作文、長文読解など多様な形式で出題している。基本的な文法・語法の正確な知識だけでなく、それらをもとに、伝えたいことを英語で表現する力や、英文を理解し、読み取った内容を的確にまとめる力を求めている。高2に向けて、これからは、英文1文ごとの理解だけでなく、パラグラフや英文全体の展開を意識した読解練習をしてほしい。今回の結果は、総得点だけでなく大問ごとの出来や誤答の内容もきちんと確認して、今後重点的に学習していくべき内容を押さえておこう。

問題別講評・採点基準

1 リスニング

会話文、説明文ともに、分量の多い英文だったため、メモを取るのに苦戦した受験生が多かっただろう。放送前に設問にざっくりとでも目を通し、注意して聞くべきポイントをあらかじめ予測しておく取り組みやすい。聞き取りにくかった箇所については、解答解説の放送内容を音読して復習しておこう。

問題A

読み上げのスピードが実際の日常会話並みだったため、メモを取るのに苦戦した受験生が多かっただろう。英問英答形式の設問で、選択肢の英文がやや長いものもあるため、放送前に設問を確認したかどうかで差がついたと思われる。フレッドとスーザンの近況や、スーザンからのアドバイス、会話が繰り返り広げられている場所など様々な情報について正確に把握する必要があった。

(2) One is reading books. You should read widely and *deeply*. につられて *deep thinking* を含む a を選んだ誤答が大半を占めた。聞こえてくるキーワードが含まれる選択肢を選ぶのではなく、その選択肢の内容が正しいかという観点で選択肢を吟味すること。また、発言内容が少し後で訂正や補足をされていないかにも注意して聴くとよい。

問題B

中高生を対象とした市立美術館のイベントに関する説明文。

Part 1

(1) こちらも放送された 400 という数字をそのまま選んだ誤答が多かった。選択肢に数字があるからといって、聞こえた数字をそのまま解答する設問とは限らない。設問文に事前に目を通しておくとともに、後で落ち着いて計算し直せるよう、必要な情報をメモしておこう。

(3) 放送内容にある because of some school event の直後の but に注意。that was *not* the reason とすぐに訂正されていたので、b は不正解。

Part 2

ディクテーション問題。スペルミスや時制のミスは、単語の抜けや聞き間違い同様、配点分の減点とした。ディクテーションでは、語彙や文法の知識で減点が避けられる場合があるので、見直しを強化しよう。

(1) 品詞にまで意識を向けられたかどうかのポイントの1つだった。interested を用いた誤答が見られたが、前置詞 into の直後に続けられるのは名詞。

(2) use of を youth や useful としたものが見られたが、それでは文意が通らない。空所前後とのつながりや文全体の意味を考えて解答しよう。

2 文法・語法

文法事項は、知覚動詞、関係詞、動名詞、助動詞、受動態、形式主語構文など広い範囲を出題した。加えて、イディオムに関する設問や会話でよく用いられる定型表現も出題している。文法・語法の知識に加えて、文脈の把握が必要な設問も複数あったことに注意。

3 英作文

この大問では、語彙・文法の正確な知識と、それらを組み合わせて、条件に合った内容を英文で正しく表現する力を問うた。

A 整序英作文

1 語でも間違えているものは配点分減点とした。

(1) 関係代名詞も語群に含まれていれば the last person … (…する最後の人) を思い出せたかもしれないが、目的格の関係代名詞は省略可能。整序英作文では「省略可能な関係代名詞」の存在を意識できるようにしたい。

(2) 〈know better than to + 動詞の原形〉に関係する誤りが多かった。不定詞の応用表現として押さ

えておこう。

(3) kind enough to という組み合わせは書いていても配置する位置の誤りが目立った。Would you tell me だけでも丁寧な依頼にはなるが、kind enough to …の使い方まで考えて文を組み立てた。

(4) worth の位置を誤っている答案が多かった。The painting is worth buying. など、例文ごと覚えるようにするとよい。

B 条件付き英作文

会話文の一部を埋める形式で、イラストの状況や空所前後の文脈のつながりを考えて書くことが条件。イラストから読み取れる情報を不足なく盛り込めていたか、言いたいことが採点者に伝わる英文だったか、返却された答案を振り返っておこう。

採点は、内容面と文法・語彙の面から減点法で行った。

(1) 空所前の「何があったの?」という質問に答える問題。イラスト(a), (b)から、①寝坊した、②自転車がなくなっていたという2つのポイントを含める必要がある。ポイントを押さえているが誤った情報を含むものや、空所の前後と内容が矛盾する場合は-3点、ポイントを押さえられていない場合は-6点とした。

(2) ①目覚まし機能付きのロボットであること、②そのロボットの具体的特徴を示していることの2点をポイントとし、どちらかが抜けている、または空所の前後と内容が矛盾する場合は-5点、ポイント2つともに不備がある場合は-10点とした。英作文では、スペルミスや文法面でのケアレスミスをしないう、書き終えたら必ず見直すこと。

C 和文英訳

(1), (2) ともに以下に示すパートに分け、減点法で採点を行った。

- (1) ○自分でやってみると ……2点
○のこぎりを使うのでさえ ……2点
○見かけほど簡単でない ……3点
○ことがわかりました ……2点

「見かけほど」の時制のミスが目立った。時制は最後の見直しで必ず確認しよう。

- (2) ○家具作りの楽しさ ……3点
○を息子に教える ……2点
○「には時間がかかりそうです」 ……4点

「家具」で語彙力の差が出た。スペルミスが出や

すい語だが、それとともに不可算名詞としても注意が必要なのでこの機会に覚えよう。

4 長文読解

ポーランド人の女性がヒトラーによる母国への侵攻について書いた手記の一部。比喩的な表現を含む英文において、話の展開や細かい描写が理解できているかを問うた。

(4) 今回の英文を読み進める上で、世界史の知識や一般教養が助けになる部分もあったが、下線部が表す内容としては、自分の知識をまとめるのではなく、本文の内容をまとめること。

5 長文読解

「バイオミクリー」の考え方とその活用について述べた英文。

(1) 和訳問題。以下に示すパートに分け、減点法で採点した。

○ Instead of trying to design new chemical cleaners that are less toxic ……5点

○ a team of German scientists wondered ……3点

○ how other organisms stay clean ……4点

構文はさほど複雑ではないが、design, cleaners, organisms など訳語の選択に迷う語が多いので、適切な訳語の選択ができていないものは減点対象とした。

(2) ① 含めるべきポイントは、「何と」=the structure of the lotus leaf, 「どの点で」=“mountainous” surface の2点。ポイントが1つ欠けていたら-6点とした。

② 該当箇所は rainwater washes the dirt away. rainwater, washes ~ away, the dirt にあたるものが1つ欠けるか間違えるごとに(-3)とした。

(3) ポイントとなるのは、植物と動物との間の関係で、それぞれの行動を通して物質を循環させる仕組みであること。光合成のみへの言及など、呼吸の説明がなく、双方向性を表す記述がないものは(-6)とした。

第3回 高1数学

総評

今回は、必答問題を「数と式」「2次関数」「場合の数と確率」から出題し、選択問題として「図形と計量」「整数の性質」「図形と方程式」を出題した。

全体的に、基本的な処理はおおむねよくできていたが、応用になると手がつかない人が多かった。ほぼ正答の答案の中にも、遠回りの解法をとっているものや、論証に不備があるものも見られた。「解答」や「解説」を確認し、よく復習しておいてほしい。

問題別講評

1 小問集合

(1) **ア**はよくできていたが、**イ**は符号ミスがやや見られた。

(2) **ウ**、**エ**はよくできていたが、**オ**は ${}_4C_2$ を考慮できていないものが見られた。反復試行の確率について確認しておこう。

(3) **カ**は比較的よくできていたが、**キ**はできていなかった。ド・モルガンの定理についてしっかりと理解しておいてほしい。

(4) **ク**は約分未了や未整理のものが多く見られた。**ケ**は $a < 0$ を考慮できていないものがやや見られた。

2 2次関数

定数 a を含む2次関数についての問題。

(1) よくできていた。

(2) (i) 全体的によくできていたが、判別式を利用する解法では評価が曖昧なものが見られた。

(2) (ii) α 、 β を求めようとする答案がやや見られたが、その中の多くは評価が曖昧だった。

(3) 結論のみ書いてあるものや、論証が不十分なものが目立った。

3 場合の数と確率

数字が書かれている赤玉、青玉、白玉を題材にした確率の問題。

(1) よくできていた。

(2) 数字ではなく色に着目して場合分けした答案が多く見られた。

(3) (I)をみたくす確率、…、(IV)をみたくす確率をそれぞれ求めるなど題意を正しく理解していない答案が見られた。また、条件の考察がもれている答案が多く見られた。表などを活用して情報を整理するようにしてほしい。

4 図形と計量

四角錐を題材とした、平面図形および空間図形の問題。

(1) よくできていた。

(2) 図をかかずに考えようとして行き詰まっているものが多かった。また、余弦定理を用いて \cos を求める過程の計算ミスがやや見られた。

(3) 本問のポイントは、 OA を外接円の半径と見なして正弦定理を適用することである。図をかいて、もう一度考えてみてほしい。

(4) 手をつけられたものであっても、(3)までの誤りが影響して正解できなかったものが多かった。

5 整数の性質

階乗を題材とした整数の問題。

(1) よくできていた。

(2) よくできていたが、3で割り切れる約数、9で割り切れる約数を考察するなど、手間がかかる方針の答案が見られた。解答を確認してほしい。

(3) 計算と答のみなど説明不足な答案が多かった。意図を伝える答案作成を目指してほしい。

(4) $2016! = 5^s \cdot 7^t \cdot N$ をみたくす s 、 t は正しく求められているが、 m の値を決定する部分の説明が不足しているものが見られた。

6 図形と方程式

不等式で表される領域に関する問題。

(1) よくできていたが、対称性に着目できず、説明が冗長になっている答案が見られた。

(2) 領域 D を正しく捉えられていない答案が見られた。正しく図示できた答案はよくできていた。

(3) 題意を正しくつかみ、どの点で最大、最小となるかに気づけたものは多く見られたが、計算ミスが目立った。

(4) 領域 D の端点での移動を考慮できていない答案が見られた。また、円の中心 Q が存在する領域ではなく、円全体が通る領域の面積を求めている答案も見られた。

採点基準

以下に配点の目安を記しますので、参考にしてください。なお、下記は目安であり、立式や計算の過程において、場合に応じて部分的に得点を与えることや、減点することがあります。

また、「解答」以外の方法で解いた場合などは、以下の基準に当てはまらないこともあります。

- 1** (50点) いずれも答に
 (1) **ア**:5点, **イ**:6点
 (2) **ウ**:5点, **エ**:5点, **オ**:5点
 (3) **カ**:6点, **キ**:6点
 (4) **ク**:6点, **ケ**:6点
- 2** (50点)
 (1) (10点)
 答に 10点
 (2) (i) (12点)
 $f(\frac{1}{a}) < 0$ を示して 6点
 異なる2つの実数解をもつと示して 6点
 (2) (ii) (13点)
 $f(a) > 0, f(a^2) > 0$ を示して 各6点
 答に 1点
 (3) (15点)
 軸について考察して 10点
 答に 5点
- 3** (50点)
 (1) (12点)
 全体的場合の数に 2点
 題意をみたく場合の数に 4点
 答に 6点
 (2) (15点)
 すべて異なる数字を取り出す確率に 12点
 答に 3点
 (3) (23点)
 条件をみたく取り出し方の考察に 9点
 確率を求める式の立式に、答に 各7点
- 4** (50点)
 (1) (5点)
 答に 5点
 (2) (12点)
 $\cos \angle BAD$ を求めて 6点

- $\angle BAD$ を求めて 6点
 (3) (15点)
 正弦定理の利用と正しい値の代入に 10点
 OA を求めて 5点
 (4) (18点)
 $\triangle OMG$ の $\triangle OIH$ 3点
 MG, OM, OH, OG の長さに 各3点
 答に 3点
- 5** (50点)
 (1) (5点)
 答に 5点
 (2) (12点)
 立式に 8点
 答に 4点
 (3) (15点)
 $\frac{10!}{2016}$ を素因数分解して 2点
 $n=2^x \cdot 3^y \cdot 5^z \cdot 7^w$ とおいて, x, y, z, w がそれぞれ何通りかを求めて 11点
 答に 2点
 (4) (18点)
 $2016! = 5^s \cdot 7^t \cdot N$ をみたく s, t に 13点
 $2016! = 175^{251} \cdot 7^{83} \cdot N$ 4点
 結論に 1点
- 6** (50点)
 (1) (10点)
 $x \geq 0, y \geq 0$ における領域を捉えて 7点
 対称移動して領域全体を捉えて 3点
 (2) (12点)
 領域 D の形状を捉えて 4点
 答に 8点
 (3) (13点)
 $(x-1)^2 + y^2 = k$ とおいて 1点
 最大値を求めて 4点
 最小値を求めて 8点
 (4) (15点)
 D の内側の面積を求めて 5点
 D の外側の面積を求めて 8点
 答に 2点

第三回 高一国語

総評

評論、小説、古文、漢文について、苦手な分野を作らず、バランスよく国語の力を伸ばしていきたい。高一の現時点では、古文・漢文の学習状況によって、点数の差がつきやすく、今回の模試でもその傾向が見られた。古典で思うように得点できなかった人は、まず、単語の意味や文法事項、句形の知識などの基礎をしっかりと身につけよう。基礎固めがこの先の伸びにつながるので、今回間違えたところはきちんと復習しておくことが大切だ。

問題別講評・採点基準

一 評論

(一) 熟語は、一字でも誤りを含んでいたら不可。
(e) 「完璧」の「壁」を「壁」とする誤りが非常に多かった。

(二) これは易しかったようだ。よく出来ている。

(三) 「採点基準」

「a 商品の選択の基準に対するこだわりがなく、ある程度の商品でも満足できる」と説明して

* a 6点、b 4点。 — 10点
b 部で、「購入した商品に満足できる」とことごとく

まり、その商品が「ある程度のものであってもよいことまで説明できていない答案が多かった。『最高の商品』を求めるマキシマイザーに対比されているのだから、この点は明確にしたい。

(四) (エ)という誤答が多かった。ここで述べられているのは専ら商品選択に関わることであり、「独自の人生観」というのは、やや言い過ぎである。

(五) 「採点基準」

「a 人々が、b 自分が購入したものよりも良い商品があったという後悔に耐えつつも、c 企業の提供する画一的な文化に満足せず、d より良い生活を求めて自由に商品を探そうとする社会」と説明して

* a 1点、b 4点、c 4点、d 5点。 — 14点
「人々がサテイスファイサーではなくマキシマイザーとして行動する社会」では説明になっていないし、字数も大幅に足りない。そこでそれぞれに説明を加えようとするのだが、「サテイスファイサー」に関する説明はここでは必要ないことに気づいてほしい。これを盛り込んでしまったために、必要な要素を落としてしまった答案が多かった。

(六) 問題文全体が対象となる内容合致問題で、選択肢が三行と長く、問題文の該当箇所と比較して丁寧に検討する必要がある。誤答としては(A)が目立った。解説をよく読んで復習しておこう。

二 小説

(一) 「採点基準」

「a 着物に着がえた心地よさから、思わず普段と同じようにふるまってしまったことで、自分がb 母の死に悲しみを感じていないことを c 兄達に気づかれたのではないかと恐れたから」と説明して

* a 5点、b 3点、c 4点。 — 12点
大枠は捉えられているものが多かった。中には、傍線部直後の一文「……不覚にも習癖を動作させたのだ。」までの内容で答案を作っているものもあったが、さらに次の一文も押さえる必要がある。

(二) よく出来ている。

(三) 「採点基準」

「a あえて誤解を招く言い方をすることで、自分がb 母の死に衝撃を受け、食欲をなくしている」と兄に思わせること」と説明して

* a 2点、b 6点、c 2点。 — 10点
「いえ、いいんです」という言葉の意味、すなわちa 部を押さえられていないものが多かった。

(四) よく出来ている。

(五) (イ)(ウ)という誤答が目立った。「母に対する感謝の念」「母が様々なものから守ってくれていた」というのは、母を亡くしたときに湧いてきそうな思いではある。しかしそれは、一般的に、ということではある。

あつて、ここではあくまで問題文に即して考えなければならぬ。

(六) (イ)という誤答が散見された。『僕』の姿に「批判的」な感情を持った読者はいるだろうが、作者が「批判的に」描いているとは言えない。

古文

(一) まずは動詞を正しく抜き出せたかどうか、振り返っておいてほしい。

(二) (z) 「あなかしこ」が難しかったようである。

(三) ここで間違えた人は、問題文のあらすじを捉えられていなかったということになる。

採点基準

「生活に困った者などと名乗るので、b 気の毒であるから c 少しでも差し上げたいけれども」と訳して — 8 点

* a 3 点、b 2 点、c 3 点。

「名乗れば」の「ば」、「いとほしさに」の「に」を正しく訳出できていないものが多い。

採点基準

「伊佐の入道ほどの者が、b 海賊に遭い縛られて、荷物を奪われたと c 言われるのは不名誉だから」と説明して — 8 点

* a 2 点、b 3 点、c 3 点。

傍線部自体の解釈を誤つたと思われる誤答が多かつた。傍線部の意味を正しく捉えられていたか、振り返っておいてほしい。

採点基準

(六) (i) 「自分を伊佐の入道だと名乗っている点」と説明して — 5 点

「伊佐の入道になりすましている」「自分が伊佐の入道である」などでも可。

* 「実は伊佐の入道ではない」「実際はただの講師である」など、事実のみを説明したものは-3 点。

採点基準

(ii) 「兵士が多くいるように振る舞っている点」と説明して — 5 点

* 「船に大勢いるように話している」など、〈兵士〉という点が明確でないものは-1 点。

* 「船には兵がいること」など、〈見せかけている〉意を欠くものは-2 点。

(i) で「多くの戦を生き抜いた」とするものがあつたが、それだけでは海賊は逃げ出さないうらう。

(七) 誤答は割れている。正しく読めた人が少なかつたことの表れだろう。

漢文

(一) いずれも基本的なものである。間違えた人はこの機会に覚えておこう。

(二) (v) の出来がよくなかった。

採点基準

(三) (i) a 奈何ぞ b 廷に(一) c 廷尉を辱むる(や) (と) と書き下して — 4 点

* a 1 点、b 1 点、c 2 点。

採点基準

(ii) a どうして b 宮廷の中で c 廷尉に恥をかかせた a のか(と) と訳して — 4 点

* a 2 点、b 1 点、c 1 点。出来ていない。せめて「奈何ぞ」ぐらいは正しく押さえないところである。

採点基準

(四) a 自分の年齢と身分を考えると、b 生きていくうちに c 張廷尉のためになることはできそうもないということ」と説明して — 6 点

* a 2 点、b 1 点、c 3 点。これも出来ていない。

(五) (i) 「積之…結之」という誤答が多い。積之は、王生の臣であるわけではない。

採点基準

(ii) a 裁判の議決にあたるときは、b いつも c 公平な判決を下した」と訳して — 6 点

* a 2 点、b 1 点、c 3 点。

(六) 選択肢に対語が並んでいたからか、AB に入る語も対語でなければならぬと思つてしまった人が多かつたようである。